

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M211N207		内科系疾病論 (Internal medicine)					健康科学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	2	医学部看護学 科	後期	月5,火2,火 5,水2	日本語		英語		オムニバス					
担当 教員	氏名 正木孝幸・横山敦・橋本武博・梅木達仁他 E-mail masaki@oita-u.ac.jp 内線 5071														
授業 の 概 要	患者が抱える内科系の症候と疾病、特に感染症、腎、内分泌・代謝、免疫・アレルギー、遺伝について、病因・病態の理解を深め、臨床の場で実際に行われている診断法や治療法について学習する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 内科疾患の基本的な症候がなぜ起こるのかを理解し、説明できる。															
目標2 主な内科疾患の病因・病態と検査、診断および鑑別疾患を理解し、説明できる。															
目標3 主な内科疾患の治療の概略と要点を説明できる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									5			3	2		
授業の内容															
1 感染症(1) 微生物と免疫応答・診断法と抗菌薬療法															
2 感染症(2) 敗血症・日和見感染症															
3 感染症(3) 耐性菌感染症・感染制御															
4 腎(1) 症候と検査															
5 腎(2) 原発性・続発性腎疾患															
6 腎(3) 腎不全・透析															
7 内分泌・代謝(1) 視床下部・下垂体															
8 内分泌・代謝(2) 甲状腺・副腎															
9 内分泌・代謝(3) 糖尿病の診断と病態															
10 内分泌・代謝(4) 糖尿病の治療・肥満・高尿酸血症															
11 免疫・アレルギー(1) 免疫															
12 免疫・アレルギー(2) アレルギー															
13 免疫・アレルギー(3) リウマチ・膠原病															
14 遺伝(1) 遺伝のしくみ・メンデル遺伝															
15 遺伝(2) 多因子遺伝・遺伝カウンセリング															
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認		学習記録で振り返る。			工 夫 そ の 他 の	・各回の授業で学んだ事やその意義を考える時間を設ける。 ・学んだ知識を応用する訓練を通じて、使える知識とする。								
B:意見の表現・交換		講義中に意見を求める。													
C:応用志向		事例を入れて鑑別診断を考えさせる。													
D:知識の活用・創造															
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		次回の学習内容について予習する。(8)												
	事後学修		前回の授業で学習した内容を復習する。(16)												
	想定時間合計		24												
教科書	伊波 早苗他、系統看護学講座成人看護学[6]内分泌・代謝、医学書院、2024年、ISBN 978-4-260-05310-5 伊澤 由香他、系統看護学講座成人看護学[8]腎・泌尿器、医学書院、2024年、ISBN 978-4-260-05314-3 泉川 公一他、系統看護学講座成人看護学[11]アレルギー・膠原病・感染症、医学書院、2025年、ISBN978-4-260-05674-8														
参考書	特になし														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		期末試験	80%									
	学修記録	20%										
注意事項	Moodleに授業資料が掲示された場合は必ず確認をして授業に臨み授業後は学修記録を行う。											
備考	附属病院の臨床の第一線で活躍されている医師が講師となります。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	医師（病院）											
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	医師（病院）											
実務経験を いかした教 育内容	病院の内科医師として患者の病態や疾病への理解による疾病論の知識を教授し、内科疾患の診断や治療法についての学習を支援する。											